

沿岸定線観測速報 ちば (2020年1月)

千葉丸：1月11~12, 16~17日

千葉県水産総合研究センター

千葉県農林水産技術会議

令和2年1月20日

黒潮はやや離岸して北東に流れていました (図2)。

水温は、銚子・九十九里, 外房いずれも平年並~やや高めでした (表1)。

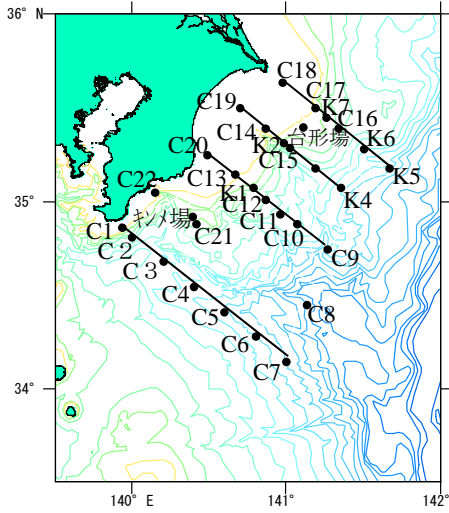


図1 調査点

線は北から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島埼ライン

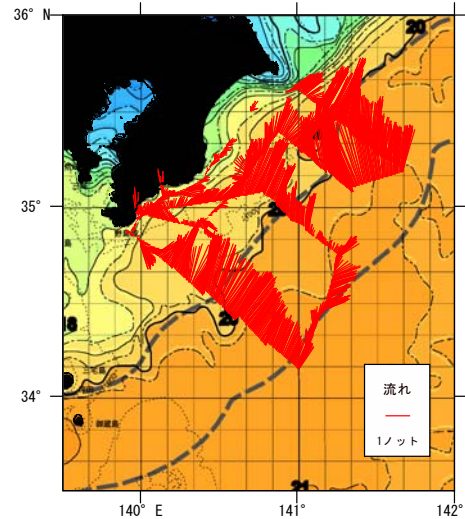
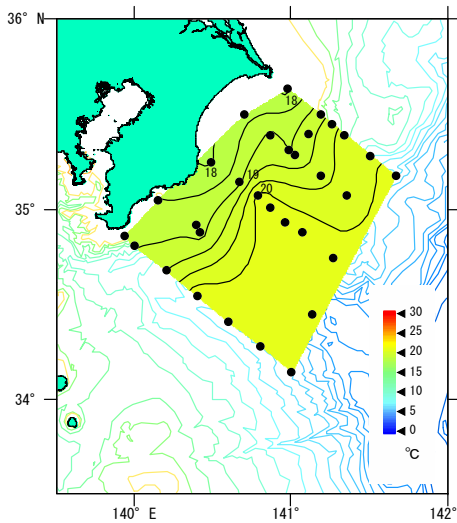
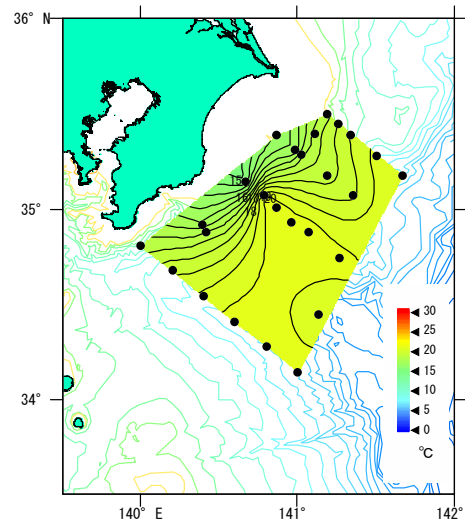


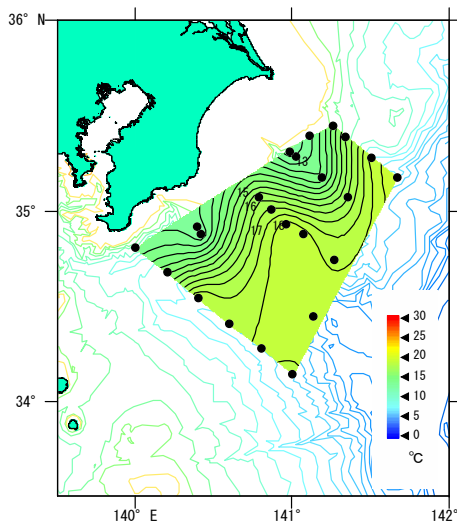
図2 観測時の海況



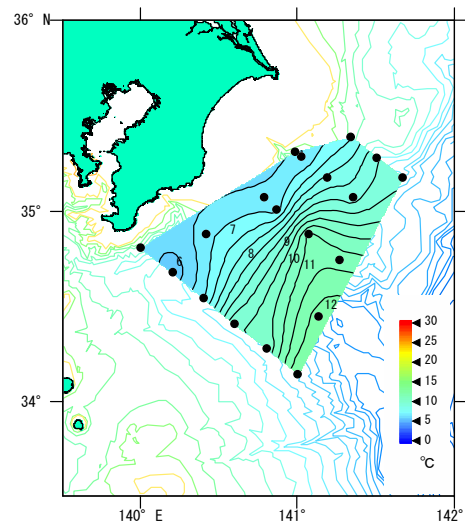
10m



100m



200m



500m

図3 水深別の水温分布

黒潮はやや離岸していましたが，黒潮から暖水が波及する海域には北東へ向かう速い潮が見られました（図 2）。

表層水温は 18~21℃，表層塩分は 34.6~34.7PSU でした（図 3, 4）。南部の太東岬，野島埼沖は 150m 深まで水温がほぼ一様でした。また，犬吠埼沖の大陸棚斜面の水深 370m 以深には 10℃以下，34.2PSU 以下の水塊が分布していました。（図 7）。

クロロフィルは，水深 10m では銚子沿岸で多め，水深 50m は全域少なめでした（図 5）。

キンメ漁場での 100m 以深の水温は，勝浦沖は前年並み，銚子沖は前年より 1~2℃高めでした（図 8）。

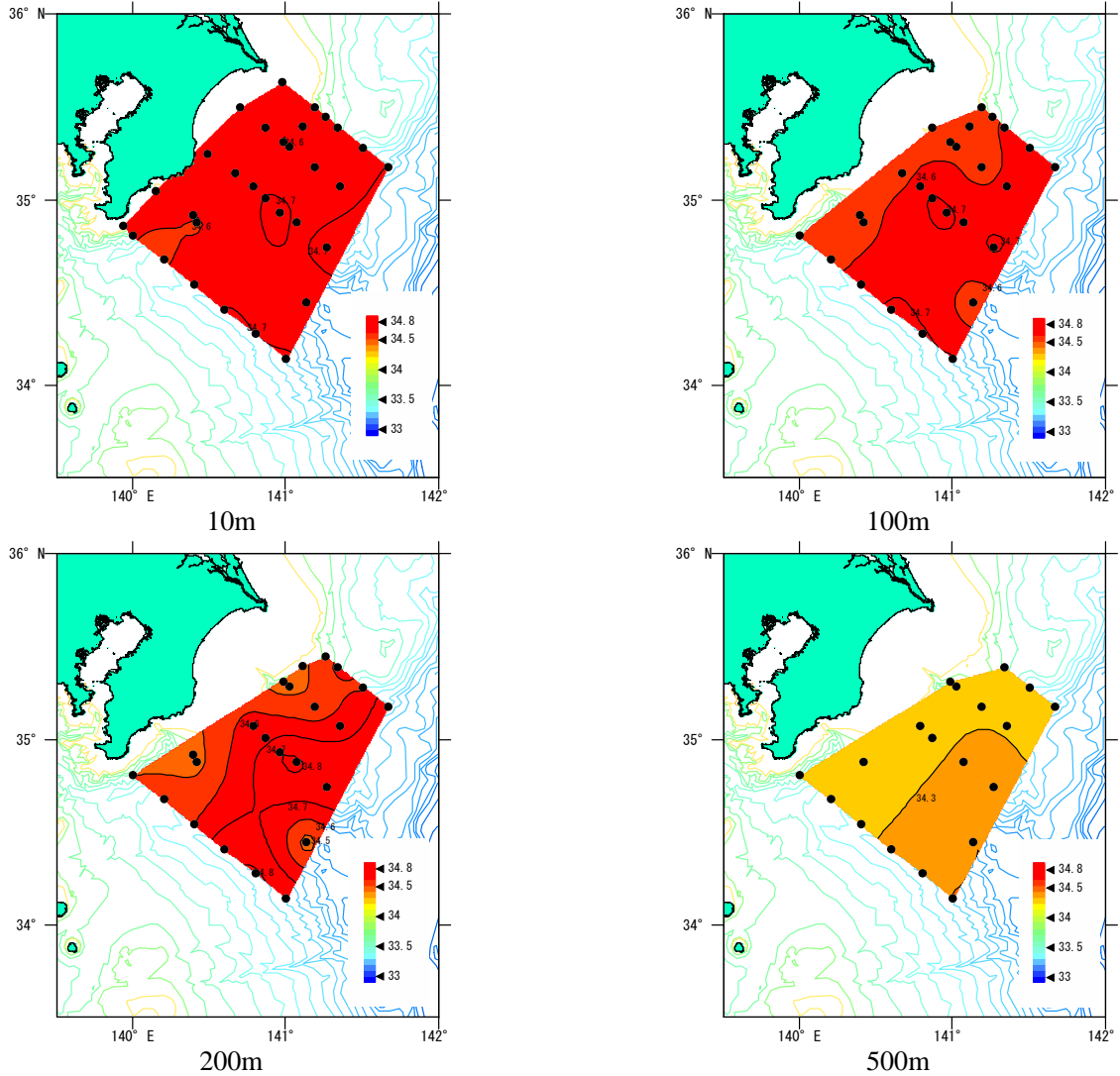


図 4 水深別の塩分分布

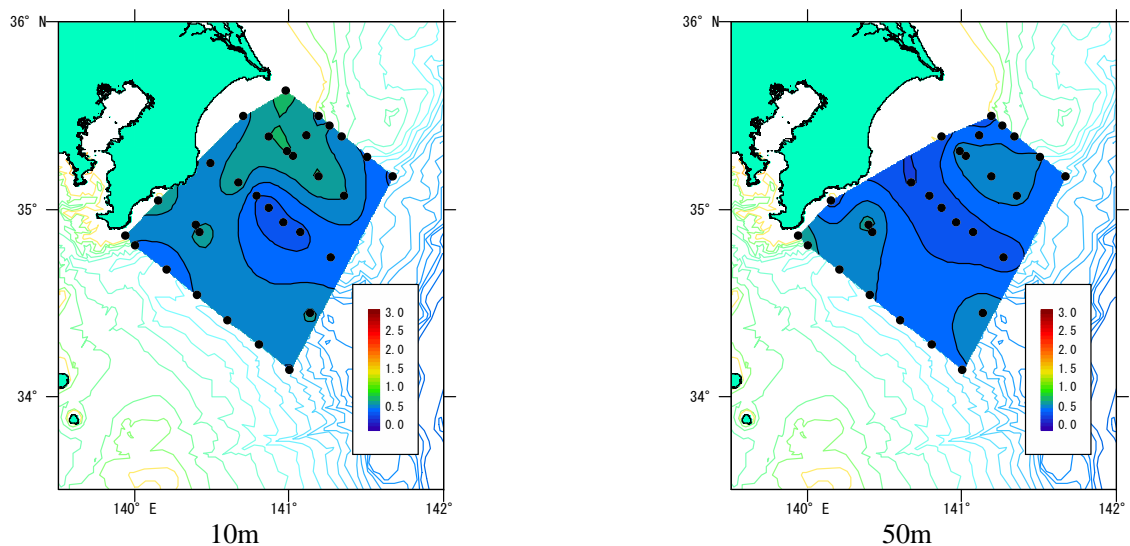


図 5 水深別のクロロフィル分布（単位： $\mu\text{g/L}$ ）

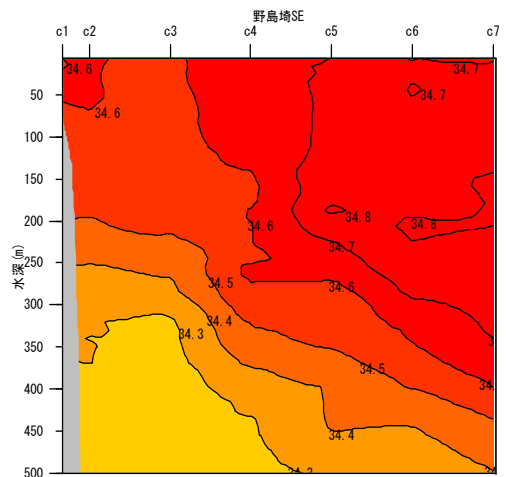
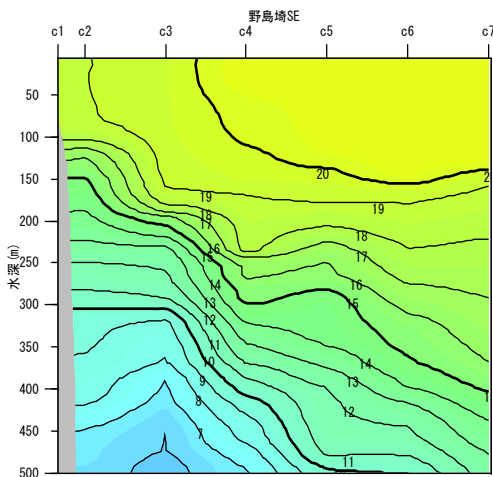
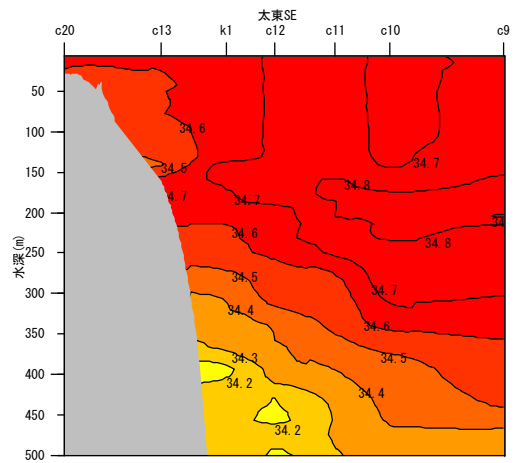
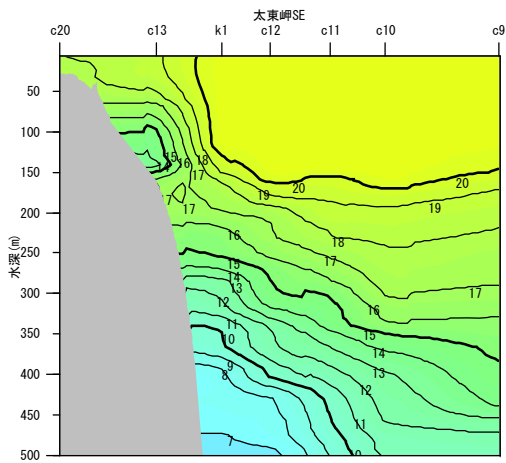
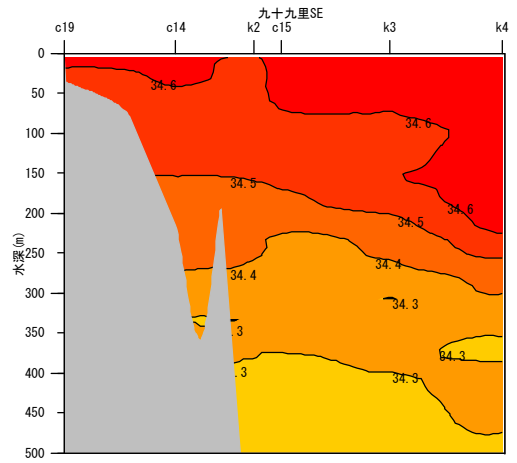
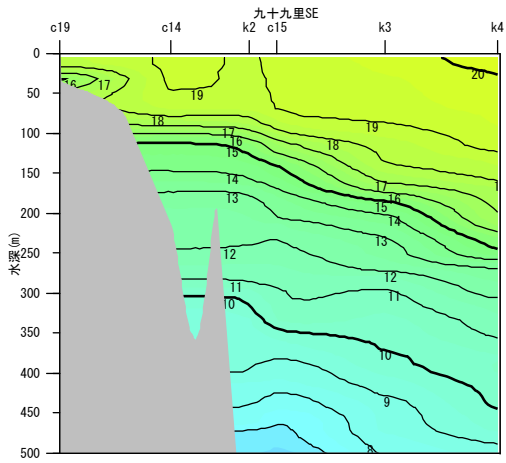
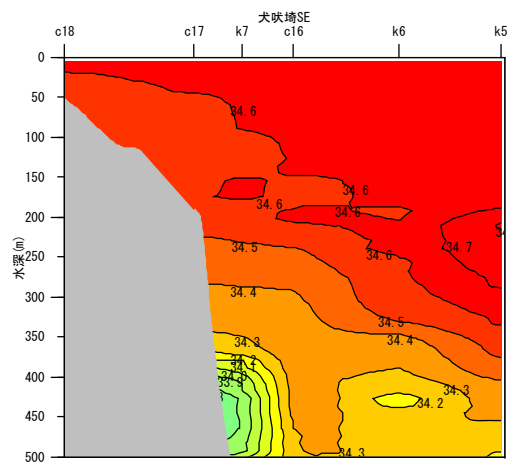
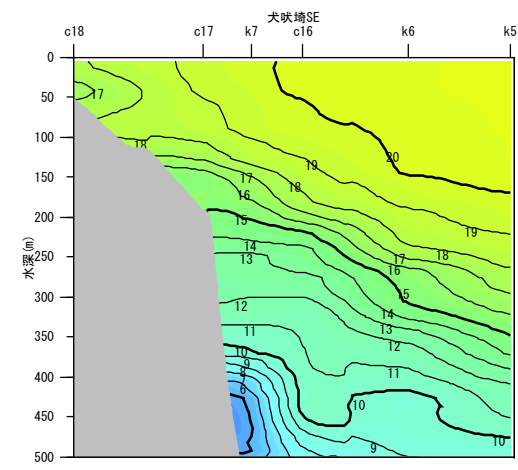
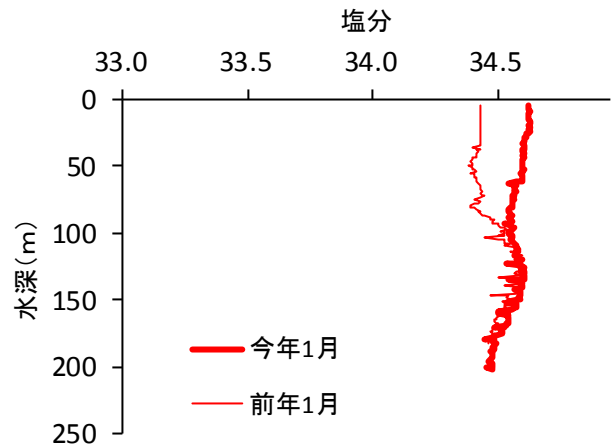
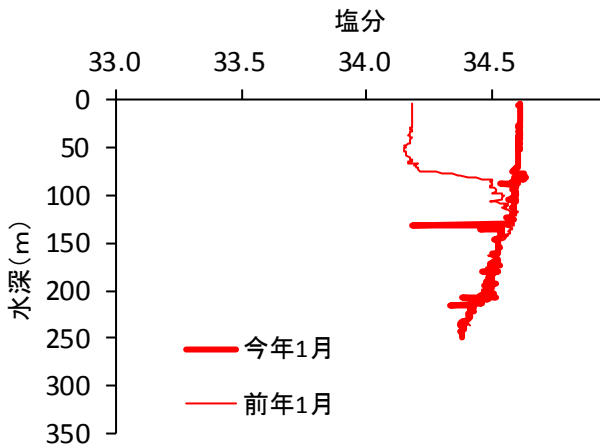
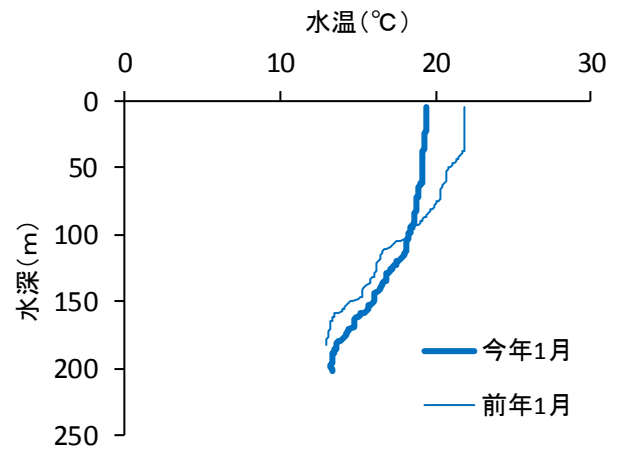
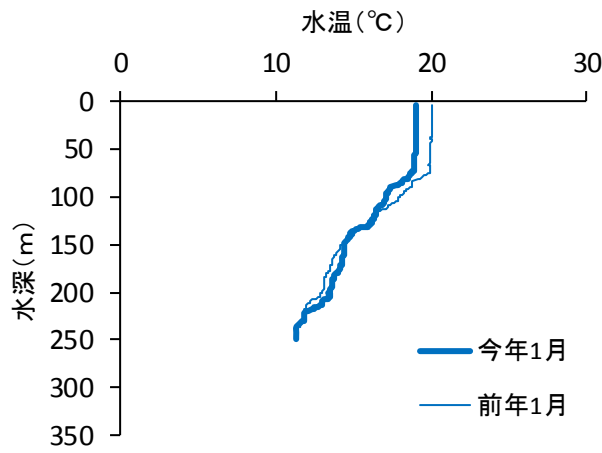


図6 水温鉛直分布

図7 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼ライン（図1参照）。



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 勝浦沖キンメ場・銚子沖台形場の水温塩分鉛直分布

表1 海域別平均水温(°C)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	18.9 やや高め	18.8 平年並	18.0 やや高め	14.8 平年並
外房	19.2 やや高め	18.9 やや高め	17.7 平年並	15.7 やや高め

*水温評価点 (銚子・九十九里海域：C14~20 計7点)
(外房海域：C1,C3,C11,C13,C21,C22 計6点)

*沿岸水温評価の目安

きわめて高め	2.0 σ ~	
高め	1.3 σ ~ 2.0 σ	
やや高め	0.6 σ ~ 1.3 σ	
平年並み	0 ~ 0.6 σ	
平年並み	0 ~ -0.6 σ	
やや低め	-0.6 σ ~ -1.3 σ	
低め	-1.3 σ ~ -2.0 σ	
きわめて低め	-2.0 σ ~	(σ : 標準偏差)

<資料> 関東・東海海況速報 (図2 ; 1月16日分)